平成２７年度スーパーサイエンスハイスクール実施計画の概要【経過措置】

指定期間	ふりがな 学校名	ながのけんいいやまこうとうがっこう 長野県飯山高等学校 (長野県飯山北高等学校)	所在地	長野県飯山市大字飯山2610 （飯山高校北キャンパス）
27				
これまでの指定期間		22～26（第１期）		

学科名	生徒数 (H27年度:1年は予定)					研究開発の実施規模
	１年	２年	３年(北)	３年(南)	計	
普通科	120	121	75	77	393	飯山北高校の普通科・探究科生(H27年度北キャンパス３年生)、及び飯山高校の普通科・探究科・スポーツ科学科生(二次統合校１・２年生)を対象とする。特に探究科生を主対象とし、平成27年度の南キャンパスの３年生は対象外とする。 **※H26･27年度は統合移行期により、実施計画明確化の為生徒数は27年度で表記した。** **※表中の(北)は北キャンパス、(南)は南キャンパスを表す。**
自然科学探究科	40	53	47		140	
人文科学探究科	40	26	32		98	
スポーツ科学科	40	41		31	112	

研究開発課題名	豪雪・過疎地域を科学技術力・グローカル力で地域創生に導く人材の育成
研究開発の概略	（１）現状の分析と研究の仮説 第１期ＳＳＨの取組により、生徒や学校は仮説に沿った姿に変容している。一方、地域の少子高齢化により地域の持続力に陰りがみられる。そこで、普通科・スポーツ科学科にもＳＳＨの取組を拡大し、探究科の卓越性を伸長させながら大学進学の実績を伸ばし、数学・理科・英語で小中高連携を行い、知識・技能の活用力や思考力、表現力や実践力を高める教育実践に取り組み、将来、豪雪・過疎地域の創生を担う科学技術人材を育成する。第１期の仮説１・２に新たに仮説３・４を加えて以下の４つの仮説により研究開発を行う。 仮説１：多様な刺激を与えつつ実施する自己探究型の教育が、科学分野において独創的で創造的な生徒を育てる。 仮説２：国際性やプレゼンテーションスキルの習得が、より広い情報の吸収や発信のできる生徒を育てる。 仮説３：小中高大連携とアクティブ・ラーニングによる授業改善が、主体的な学習者を育て、大学への接続性を高めることにつながる。 仮説４：課題発見型のキャリア教育や地域の課題についての科学的･探究的な学習活動が豪雪・過疎地域の創生を担う科学技術人材を育てる （２）研究開発の内容・実施方法・検証評価 ①学校設定科目の充実・改善と教育課程の開発 「探究基礎」「ＳＳ１」の内容を大幅に改善し、仮説４に係る学習活動を実施する。 ②地域連携や外部機関との連携 ③全教科での授業改善の取り組み アクティブ・ラーニングを取り入れ、学校全体で主体性と創造性、思考力と表現力の育成に取り組む ④国際交流の推進と国際性の涵養 オーストラリア、バサーストの姉妹校との交流を推進する。 ⑤地域課題や地域素材の教材化 主として「探究基礎」「探究実践」「ＳＳ１」「ＳＳ２」で行う。 ⑥４市村との小中高連携の取り組み 数学・理科・英語で実施する。 ⑦科学系クラブの育成と科学コンテスト等への参加 ※評価検証は生徒評価アンケート・授業評価・学校評価・学習ポートフォリオ等により定期的に実施する。
その他特記事項	・平成26年度からスタートした新生飯山高校は、飯山北高校の普通科・探究科の教育実践にスポーツ科学科を加えた「地域を支え、地域の将来を担う人材を育成する高校」となる。 ・平成26年度にデニソンカレッジバサーストハイキャンパス(豪)と姉妹校提携を結んだ。